



=盛岡支部大会(盛岡国労会館)=

大会は、佐藤副委員長の司会で始まり、資格審査委員会からの報告で、大会成立を確認後、資格審査委員会を議事運営委員会に移行し、議長には荒矢代議員(盛岡施設分会)を選出し議事に入りました。

支部を代表し佐々木委員長が、国内情勢、選挙戦、被災した。

盛岡支部役員体制

- 執行委員長 佐々木研司(盛岡駅連合分会)
- 執行副委員長 裏岩哲彦(宮古地域分会)
- 書記長 菅原高明(一関工務分会)
- 執行委員 佐藤都久雄(北上駅連合分会)
- 会計監査員 米田勝義(盛岡運輸分会)

時代の変化に対応しうる交運労協運動の構築を =青森県交運労協定期総会=

青森県交運労協は、第25回定期総会を11月24日、県労働会館で開催しました。國労からは、阿部青森支部委員長、田崎同書記長、私、工藤の3人が参加しました。

総会は、小沢副議長(三八五労組)の司会、開会挨拶で始まり、資格審査委員会報告を行い、総会成立確認後、議長に對馬代議員(交通労連)を選出し、議事が進められました。県交運労協を代表して挨拶に立った木下議長(JR総連)は、「①衆議院解散選挙について野党の分裂で自公連は、(1)」と述べました。

改憲勢力を大勝させてしまった(2)政策・制度要求の実現と労働環境の改善について(3)結成30年を迎える交通運輸産業は大きく変化してきた」と述べました。来賓に東北交運労協小野副議長、連合青森の内村隆志会長、国交所青森支局の官島副局長が見えられました。その後、木下議長の団結ガンバローを行いました。

議事は、2017年活動報告及び決算報告、2018年活動方針及び予算を提案後、拍手による採択を求め満場一致で採択されました。総会宣言では「改革・連携・協働」のスローガンに基づき、結成

仕事・安全点検運動を軸に=盛岡=

第39回盛岡支部定期大会が11月12日(42人参加)に盛岡国労会館会議室で、第60回青森支部定期大会が12月3日(50人参加)に青森県労働福祉会館で開催された。

両支部大会とも厳しさを増す職場の労働条件の改善、組織拡大の取り組み、平和と民主主義を守り憲法を改正させない闘い、組織内候補が立候補予定する来年の花巻・青森市議会選挙の取り組みなど地方本部と一緒に運動を進めていくことを確認した。なお、役員の改選も行われた。大会報告は盛岡支部・米田勝義執行委員、青森支部・田崎秋弘書記長の寄稿。

線区状況、組織拡大など4点に亘り挨拶。引き続き大坪勝則環境盛岡紫波地区労センターフラント議長をはじめ4人の方々の来賓挨拶、国労議員団から議会報告後、沢田地方本部委員長の挨拶を受け議題に入りました。

経過・方針(案)では6人の代議員から発言があり、職

員の改選も行われた。大会報告は盛岡支部・米田勝義執行委員、青森支部・田崎秋弘書記長の寄稿。

第39回盛岡支部定期大会が11月12日(42人参加)に盛岡国労会館会議室で、第60回青森支部定期大会が12月3日(50人参加)に青森県労働福祉会館で開催された。

両支部大会とも厳しさを増す職場の労働条件の改善、組織拡大の取り組み、平和と民主主義を守り憲法を改正させない闘い、組織内候補が立候補予定する来年の花巻・青森市議会選挙の取り組みなど地方本部と一緒に運動を進めていくことを確認した。なお、役員の改選も行われた。大会報告は盛岡支部・米田勝義執行委員、青森支部・田崎秋弘書記長の寄稿。

線区状況、組織拡大など4点に亘り挨拶。引き続き大坪勝則環境盛岡紫波地区労センターフラント議長をはじめ4人の方々の来賓挨拶、国労議員団から議会報告後、沢田地方本部委員長の挨拶を受け議題に入りました。

経過・方針(案)では6人の代議員から発言があり、職

両支部定期大会

労働条件の改善、組織拡大に全力

II 改憲反対、民主主義を守る闘いも確認 II

改憲反対、
民主主義を守る闘いも確認

労働条件の改善、組織拡大に全力

改憲反対、
民主主義を守る闘いも確認

